

第2部

その先に目指すもの

就労継続支援B型事業所 Leap

管理者 沼澤 克二

「継続」

令和6年度 一般就労実績

2名

Leapの紹介















Leapの特色

1. 多彩な作業内容

令和6年度 平均工賃月額

46,942円

薪作業



薪ストーブメンテナンス



清掃作業



清掃作業



飲食 接客



食品加工



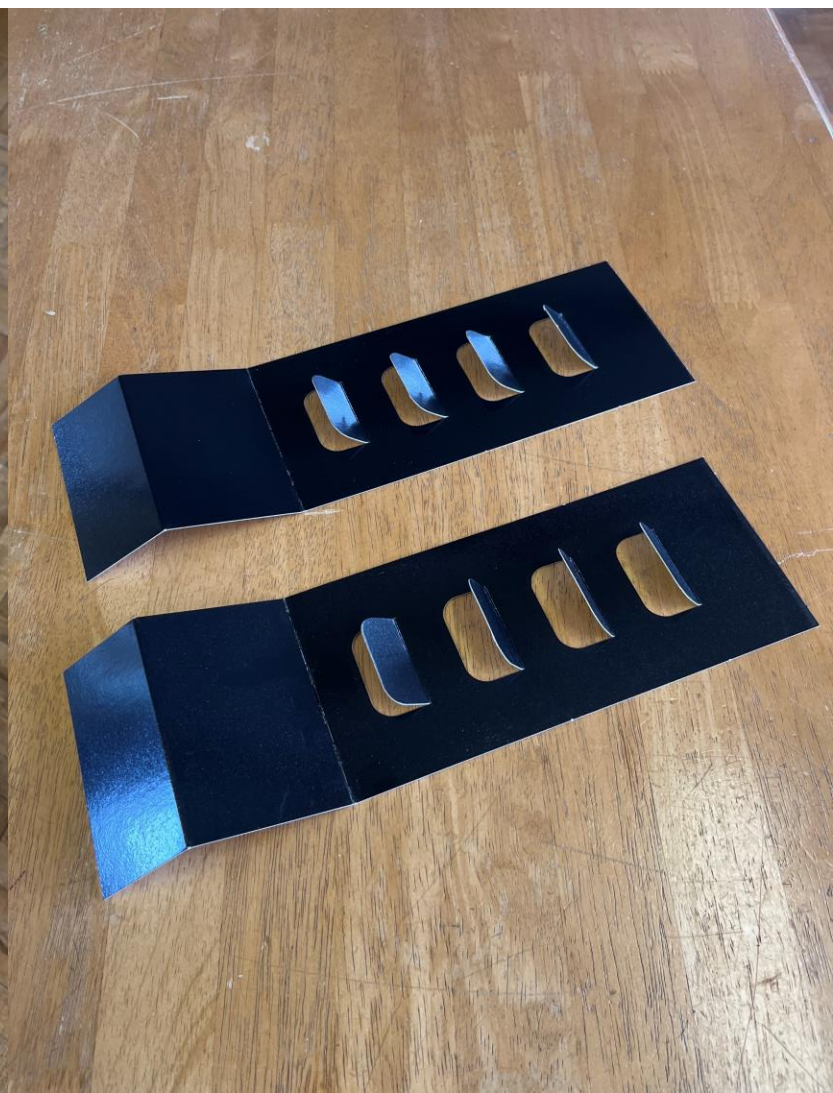
施設外作業



土木作業



軽作業



飼育 農作業



共に「やりがい」を見つける

2. 限りなく、一般企業に近い環境作り

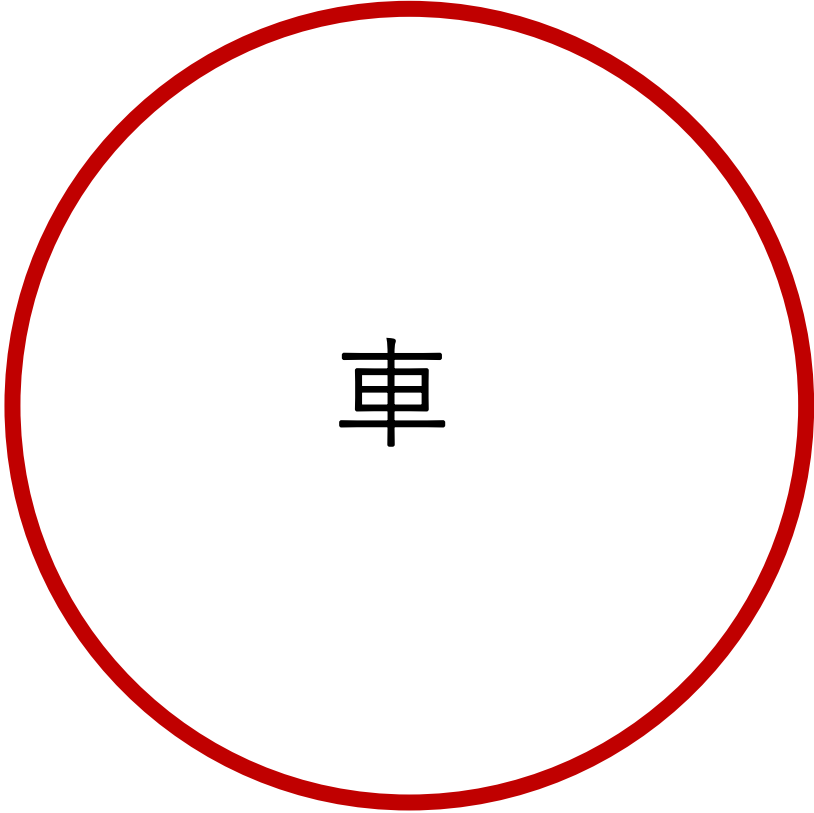
- ・ 作業開始時間の調整 朝に重点を置く 作業時間8:30～12:30
- ・ 挨拶の徹底 自分から 立ち止まり 顔を見て 聞こえる声で
- ・ 身だしなみの確認 場面に適した服装 髭の処理 においへの配慮
- ・ タイムカードの導入 オンオフの切り替え
- ・ 有給休暇制度 通所開始半年で5日分
- ・ 昇給制度 年2回の評価 頑張れば工賃が上がる

3. 資格取得応援制度

一般就労に重要なこと



移動手段



車

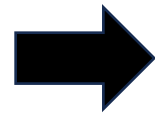
普通自動車第一種運転免許所持者 10/20名 (令和7年8月31日現在)

自家用車での通所 7/10名 (令和7年8月31日現在)

※実際の取り組み

〔自動車学校への働きかけ〕

自動車学校との事前打ち合わせ
障害特性、配慮が必要なこと等



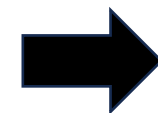
卒業検定までの余裕を持ったスケジュール調整

教官の固定化

接し方や声掛けの仕方について、担当教官の間での情報共有

〔事業所において〕

学科教習・技能教習の立ち合い、オンライン学科教習のサポート、自動車学校との連携、
運転免許試験時の有給休暇使用



昨年度、2名が合格

刈払機取扱作業者安全衛生教育

伐木等作業従事者安全衛生特別教育

玉掛け技能講習

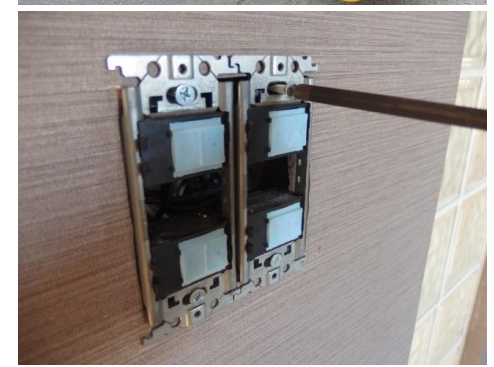
小型移動式クレーン特別教育

フォークリフト運転技能講習

第二種電気工事士

など

- ・ 職員の受講時の同行
- ・ 受講費用の一部助成
- ・ 立替、分割払い対応
- ・ 試験時の有給休暇使用



一般就労に向けた、
具体的な取り組み



職業適性

基本的労働習慣

対人技能

日常生活管理

健康管理

1. 生活習慣の見直し

- ・まずは衣食住の安定から
- ・入口の重要性、意思確認
- ・細やかなアセスメント
- ・相談先の確認

仕事をする前に大切なこと

期間	内容
まいにち 毎日	お風呂に入り、頭、体を洗うこと。
	ひげをそること。
	歯をみがくこと。
	顔を洗うこと。
	寝ぐせをなおすこと。
	洗濯された、きれいな服を着ること。
	かかとをつぶして靴をはかないこと。
	持ち物を確認すること。
まいしゅう 毎週	朝ごはんを食べること。
	爪を切ること。
まいつき 毎月	髪を切ること。
	なくなったり、汚れたり、穴があいたりしたものは買い替えること。
	季節に合わせた服装をすること。

Leap の約束

1. 作業中の私語禁止
2. 利用者さん同士の指示出し禁止
3. 物のやりとり禁止
4. 連絡先の交換禁止

- ・作業中に作業内容以外のむだ話しは禁止です。
- ・作業の指示は職員が出します。人に頼んだり、頼まれたりしないこと。
- ・自分の物は自分で準備します。人にもらったり、あげたりしないこと。
- ・Leap 以外での交流は禁止です。一緒に遊んだり、家に行かないこと。

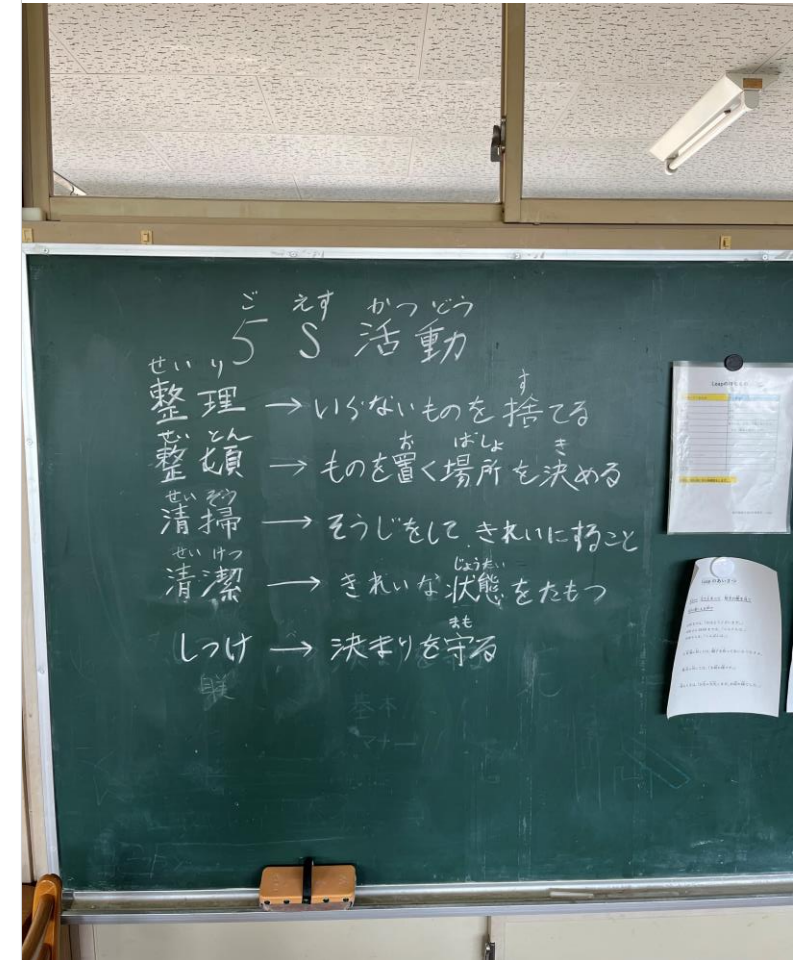
2. 習慣化

- ・ 毎日来る
- ・ 忘れ物をしない
- ・ 朝ごはんを食べる
- ・ 5S活動の推進

Leapの持ちもの

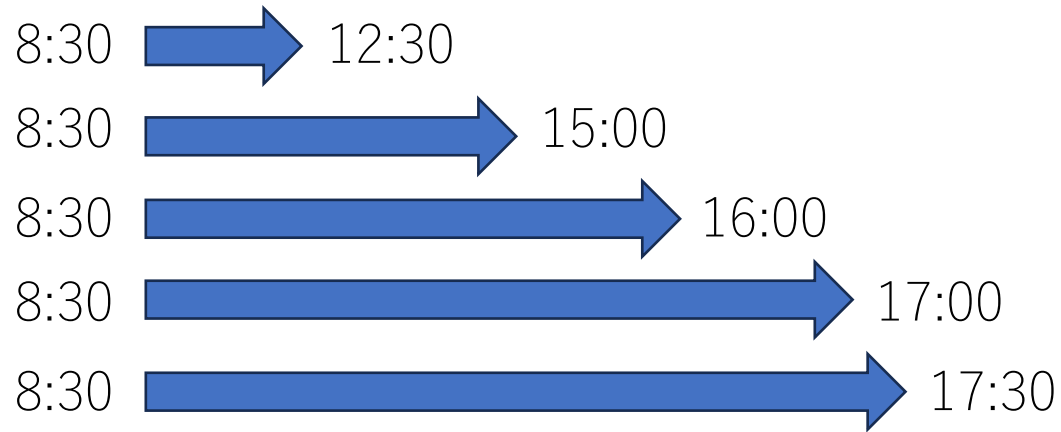
まいにち も 毎日持ってくるもの	つか じゅんび すぐ使えるように準備しておくもの
ぐんて 軍手	ヘルメット
ぼうし 帽子	ながぐつ 長靴
あんぜんぐつ 安全靴	かっぱ 合羽
うちば 内履き	※その他、作業に必要と思われる もの（職員が指示します）
の もの 飲み物	
タオル	
きが 着替え	
ハンカチ	
ティッシュペーパー	
ボールペン	
ちよう メモ帳	

まいにち ちようれいじ も もの おくにん
※毎日、朝礼時に持ち物確認をします。



3. 作業時間の延長

- ・基本の4時間から最長8時間まで



※段階を踏み、一般的な所定労働時間に近づけていく

〔通所方法〕

自家用車

電車利用（米坂線、中郡駅までの送迎）

個別送迎

4. アルバイトの併用

※自治体ごとに考え方が異なる為、確認が必要

例）就労へのステップアップとして、期間が決まっていれば同日利用可能、同日は不可、短時間のアルバイトであれば併用可能など

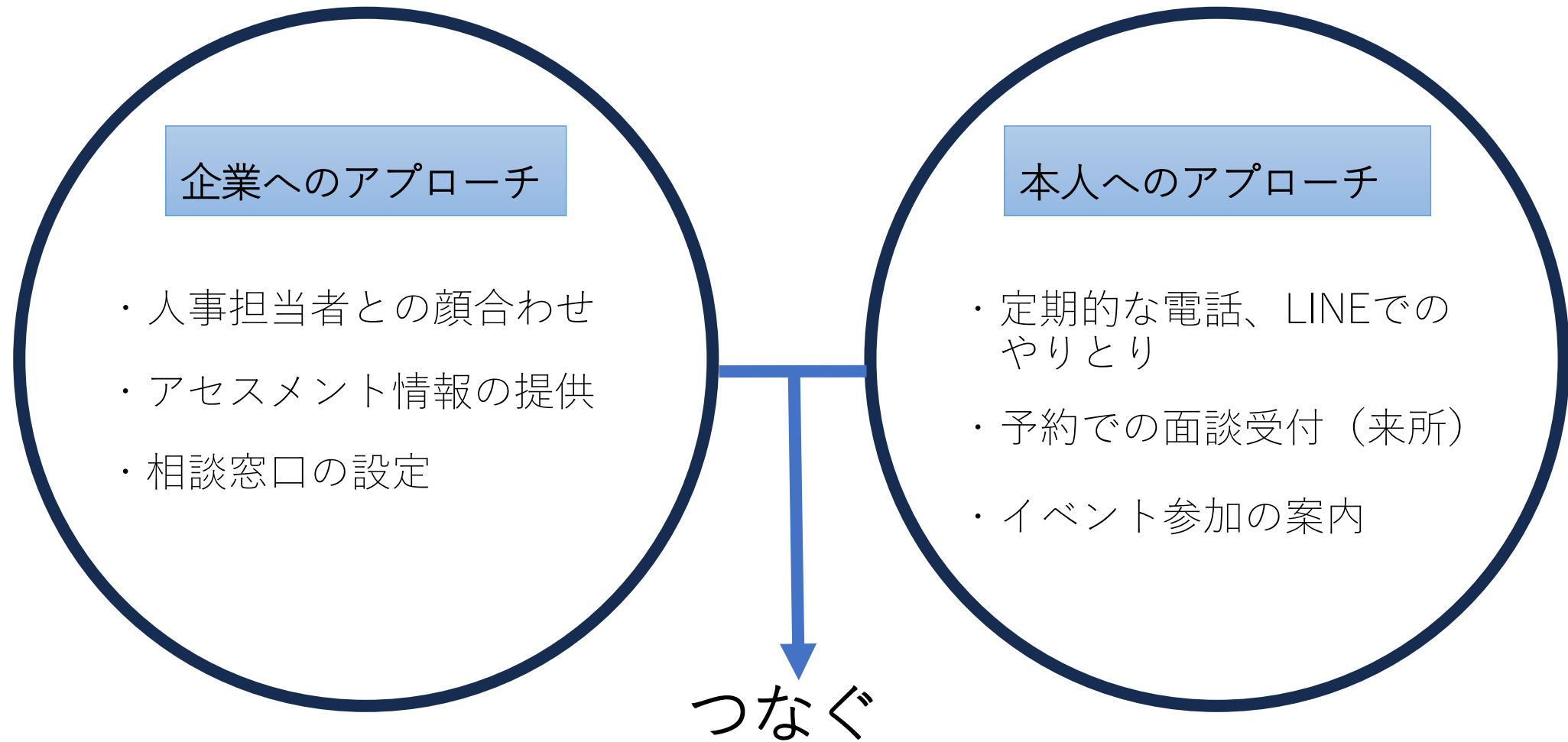
- ・最初は週1～2日のアルバイトから徐々に日数と時間を増やしていき、最終的には逆転できるようにする

※働く環境、場所を変えていく
（ご利用者の中の一人⇒従業員の中の一人）

5. 多機関連携

機関	役割
相談支援事業所 様	困りごとの相談窓口、必要な福祉サービスの計画・調整、支援経過の見守り・フォローアップなど → <u>より個別的な情報の把握、こまかな情報共有</u>
置賜障害者就業・生活支援センター 様	「働く」と「暮らす」の両輪支援、就職から生活の困りごとまで一体的に支援、関係機関と連携し、長く働ける環境作りなど → <u>就労希望者の入り口、求人動向の把握、職場体験依頼、就職後の情報の把握</u>
山形障害者職業センター 様	専門的な就職サポート、職業評価・職業訓練・カウンセリングの実施、企業や支援機関と連携し、就職や職場定着の支援など → <u>職業評価の依頼、ジョブコーチ支援の依頼</u>
ハローワーク 様	仕事を探す人と企業をつなぐ就職支援機関、求人紹介・職業相談・職業訓練などの案内、専門窓口での就職支援・助成制度の案内など → <u>就職の入り口、適切なジョブマッチング</u>

6. 就職後の支援



就職した日から6ヵ月以上、
職業生活における相談を継続

ご清聴ありがとうございました